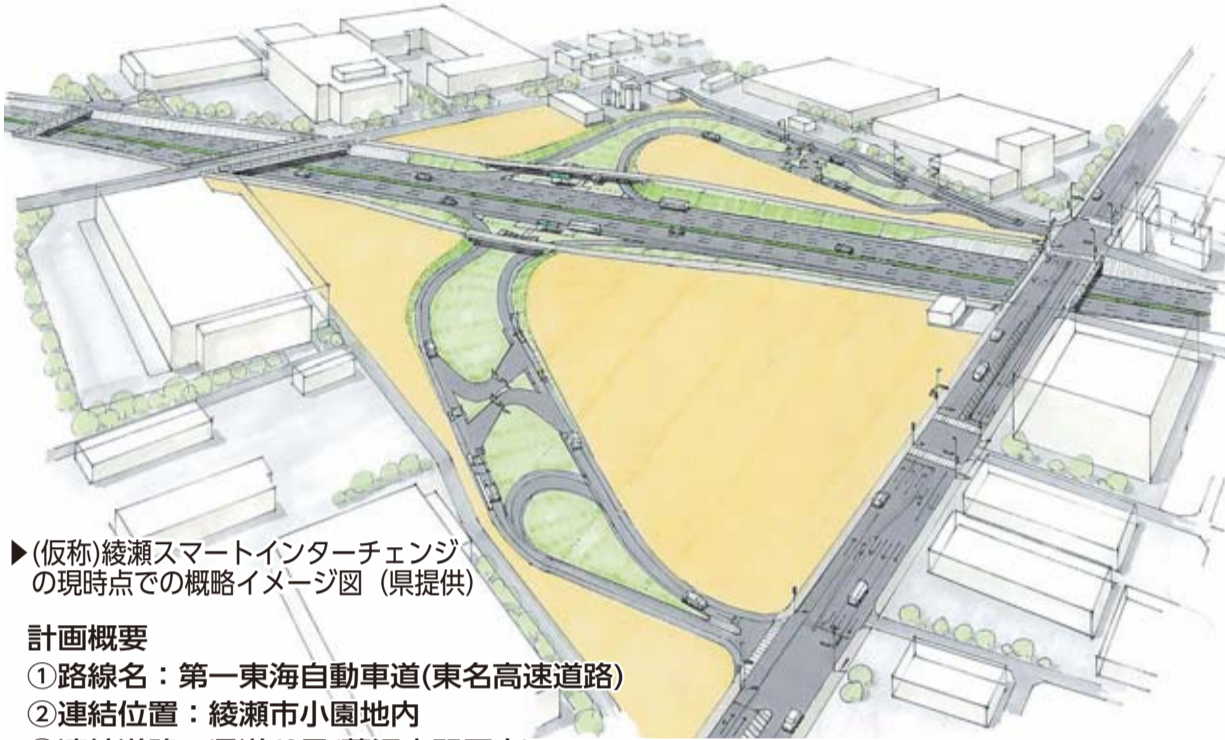




# 広報あやせ

### 主な記事

- ②自治会紹介・役員名簿
- ③健康だより
- ④6月は環境月間▶
- ⑤市民提案型協働事業募集



▶(仮称)綾瀬スマートインターチェンジの現時点での概略イメージ図(県提供)

### 計画概要

- ①路線名：第一東海自動車道(東名高速道路)
- ②連結位置：綾瀬市小園地内
- ③連結道路：県道42号(藤沢座間厚木)
- ④形態：フルインター(上下線乗り降り可)
- ⑤利用時間：24時間
- ⑥対応車種：ETC搭載の全車種(全長16.5mまで)

※スマートIC：高速道路の本線やSAなどから乗り降りができ、通行をETC搭載車に限定したIC



◀現在の様子

市と県が取り組んでいる「(仮称)綾瀬スマートインターチェンジ」が、今年度から事業化されます。

### 東名高速道路との連結許可後に事業スタート

同インターチェンジは、国の「スマートインターチェンジ(高速道路利便増進事業)制度実施要綱」に基づき設置されます。東名高速道路に連結する道路の管理者である県知事は3月19日、中日本高速道路株式会社(独)日本高速道路保有・債務返済機構に対して同要綱に基づく実施計画書

## ETC専用 綾瀬スマートIC事業化

### 29年度末までの供用開始へ

インターチェンジ

を提出。5月17日には、国土交通大臣に対して高速自動車国道法に基づく連結許可申請書を提出しました。同大臣の許可により事業がスタートします。

### インターを基軸に持続可能な都市へ

市では、「あやせプラン21」後期基本計画の重点プロジェクトである同インターチェンジを基軸としたまちづくりを進めています。事業化を受け、市内の幹線道路網の整備をはじめ、既存商工業の活性化、新産業拠点である工業系新市街地の整備や企業誘致、アグリパーク構想の具現化、観光創出などをより一層進め、人々が集い、にぎわいのある持続可能な都市を目指します。

### 事業説明会

6月20日(木)19時から、23日(日)10時から、文化会館。事業者からの事業内容とスケジュールの説明。定員各日300人(先着順)。

- 木事務所東部センター道路
- 都市課 ☎79・
- 2800、市
- イン ター 推進
- 室 ☎70・56
- 86。

## 地震に備えて 家具類転倒防止を

### 高齢者世帯対象に器具設置費助成

器具の取り付け費用を一部助成

地震の際の安全確保のため、高齢者世帯を対象に、家具の転倒防止効果がある器具の取り付け費用を助成します。

岩手・宮城内陸地震や新潟県中越沖地震など、近年発生した地震では負傷者のうち3〜5割が屋内での家具類の転倒・落下・移動によって負傷しています。大地震が発生した際、建物が無事でも家具の下敷きになって負傷をしたり、火災の延焼から逃げ遅れたりする可能性もあります。次のような対策を講じるなど、普段から家の中の安全を確保しておきましょう。

▼家具は必要最低限にして部屋の整理整頓を保つ

▼本棚や食器棚などは重い物を下の方に収納し、重心を低くする

▼棚やたんすなどの高い所には物を載せない

- ▼二段重ねの家具類は上下を平型金具などで固定する
- ▼吊り戸棚などの開き扉は金具などで開かないようにする
- ▼家具などが転倒したときに逃げ道がふさがれないよう出入口付近には家具などを置かない
- ▼家具などを壁に固定する、など

1. 助成額 器具などの代金と取り付け費用の2分の1の額(上限1万円。住民税非課税世帯はその全額について1万円以内) ▼対象▽家具など 転倒防止器具を取り付けられる家具はたす、食器棚、本棚などの家具で、家具1台当たり転倒防止器具2個まで。家具の数は1世帯当たり2台まで。冷蔵庫やテレビなどの家電製品、建物の柱や壁の補強は対象外▽対象者 市内に住所がある65歳以上1人暮らしの方が65歳以上の方のみの世帯▽施工など 市に助成を申請し、シルバー人材センターが施工するもの ▼施工者訪問 同センターが取り付け器具の決定と取り付けのため自宅を訪問 ▼自己負担額の支払い 同センターが器具を設置した後、助成額を差し引いた自己負担額を同センターに支払い ▼申請 助成申請書に記入し、7月1日から高齢介護課へ直接

